



サイバーセキュリティの置き薬

2020年
第13号

公的機関や企業等を模倣した偽サイトに注意してください

内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）では、海外のドメイン名で、日本の公的機関や企業等を模倣した多数の偽サイトの存在を確認しています。

サイバー犯罪等に巻き込まれる可能性があるため、アクセスしないよう注意してください。



首相官邸や国立国会図書館、大学、病院等の偽サイトも確認されています。

本物のサイトと見分けがつかないように模倣された偽サイトが多数確認されています。

以下に見分けるポイントを記載しましたので、参考にしてください。

○ アドレスバーからURLのドメイン名を必ず確認する。

URLリンクからホームページに行くなど普段と異なる方法の際は特に

- ・ リンクにポインタを置く アドレスバー
- ・ ブラウザのセキュリティ対策機能を使う
- ・ アドレス欄をよく見る

https://www.npa.go.jp/

↑
末尾

等により、URLのドメイン名を必ず確認してください。

○ ドメイン名の末尾を確認する。

ドメイン名の末尾に、普段見慣れない国の表記があるなど不審に思われる場合には、検索等の別の方法で本物のサイトのURLを確認してください。



日本の正規サイトは末尾が「.jp」の場合が多く、ドメイン名の末尾を確認することが、本物と偽サイトを見分ける大切なポイントです。

不審に思った場合は、安易にクリックしたり、個人情報を入力することは絶対にしないでください。



参考：内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）

2020年5月13日 Twitter「内閣サイバー（注意・警戒情報）」